

機械器具 25 医療用鏡 管理医療機器 軟性気管支鏡 JMDN コード 35461000
(内視鏡用マウスピース JMDN コード 70951000)

特定保守管理医療機器

OES 気管支ファイバースコープ OLYMPUS BF TYPE N20

【形状・構造及び原理等】

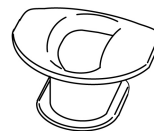
*構造・構成ユニット

1.構成

- ・内視鏡
- ・マウスピース

OLYMPUS BF TYPE N20
MA-651

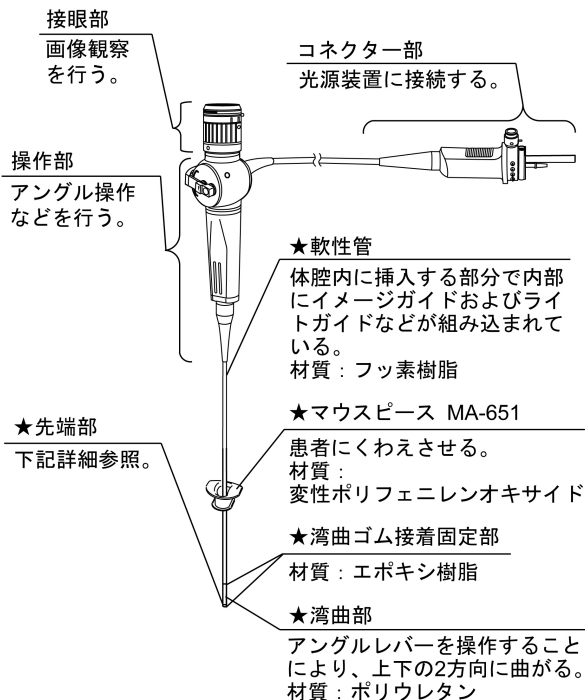
*上記以外の構成品は、『取扱説明書 操作編』の「第1章 梱包品の確認」を参照すること。



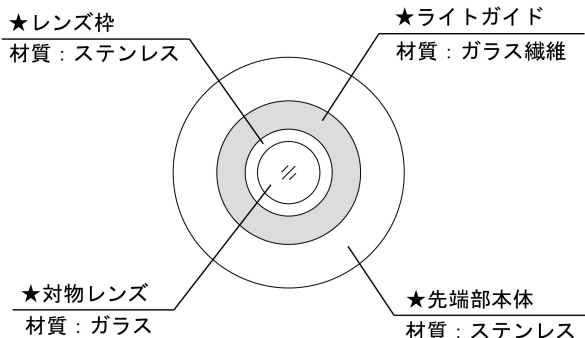
★マウスピース MA-651

2.各部の名称

★は、使用中体腔内粘液に触れる部分である。



内視鏡全体図



先端部詳細

材質：変性ポリフェニレンオキシサイド

3.仕様

(1)光学系

視野方向	: 0° (直視)
視野角	: 75°
観察深度	: 2~50mm
照明方式	: ライトガイド方式

(2)挿入部

先端部外径	: Φ1.8mm
軟性管外径	: Φ2.2mm
挿入部最大径	: Φ2.4mm
有効長	: 550mm

(3)湾曲部

湾曲角度	: UP 160°、DOWN 90°
------	--------------------

作動・動作原理

1.画像の伝達：

挿入部先端より入射した光学像が、対物レンズ、イメージガイド、接眼レンズ内を伝達され、画像を観察することができる。

2.照明：

光源装置から出力される光が、本製品に内蔵されているライトガイドにより伝達され、先端部から光が照らされる。

【使用目的又は効果】

使用目的

本ファイバースコープは、各種内視鏡用の光源装置、撮影装置と組み合わせて、気管および気管支の各領域における観察、診断に用いるファイバースコープである。

【使用方法等】

使用方法

- 1.洗浄、消毒（または滅菌）済みの内視鏡を用意する。
- 2.内視鏡画像など、内視鏡および関連機器の各種機能の点検を行う。
- 3.内視鏡を患者の体腔内に挿入し、観察、診断を行う。
- 4.内視鏡を患者の体腔内から引き抜き、内視鏡を洗浄、消毒（または滅菌）する。

*使用方法に関する詳細については、『取扱説明書 操作編』および『取扱説明書 洗浄／消毒／滅菌編』を参照すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

使用方法等に関連する使用上の注意

1. 機器の故障や破損、部品の脱落を防止するために、内視鏡の先端部、挿入部、湾曲部、操作部、ユニバーサルコード、スコープコネクターを強い力で曲げたり、ぶつけたり、引っ張ったり、ねじったり、落させないこと。
2. 本製品と組み合わせて気管チューブを使用する場合は、本製品の挿入部に装着したときに十分なすきまができるものを選択すること。気管チューブと挿入部のすきまが小さいと、患者の呼吸を妨げたり、本製品を破損させるおそれがある。
3. 本製品および気管チューブを患者に挿入する前に、本製品の挿入部に気管チューブを装着し、全長にわたって両方向に滑らせて引っ掛かりのないことおよび本製品を破損させないことを確認すること。引っ掛かりがあると、湾曲部の被覆部材が切れたり、挿入部外表面がはがれるおそれがある。潤滑剤を使用する場合、これらの確認は潤滑剤を塗布する前に行うこと。
4. オリーブオイルまたはワセリンなどの石油系の潤滑剤は、使用しないこと。湾曲部の被覆部材が膨らんだり、劣化するおそれがある。
5. 狭い管腔での湾曲部の反転操作は、内視鏡の設計上想定されていない。狭い管腔で反転操作を行うと、アングルの復帰や内視鏡が引き抜けなくなるおそれがある。狭い管腔内でアングルを掛けている際に咳嗽などにより患者が動くと、湾曲部が管腔内に押し込まれ反転するおそれがある。患者の咳嗽反射などを抑制するための前処置に関しては専門的な立場から判断すること。
6. アルコールを含有したスプレー式咽頭麻酔薬を、直接、本製品に噴霧しないこと。直接噴霧した場合、挿入部外表面がはがれるおそれがある。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 一般的事項
 - (1) 無理な力での挿入や引き抜きなどの操作を行わないこと。また、内視鏡画像により本製品の動きを観察せずに操作を行わないこと。出血、穿孔、機器の破損が生じるおそれがある。
 - (2) 内視鏡およびマウスピースは、出荷前に洗浄、消毒および滅菌されていないため、使用前に洗浄、消毒（または滅菌）を行うこと。洗浄、消毒（または滅菌）せずに使用すると感染するおそれがある。
 - (3) アングルを固定したままで、体内に内視鏡を挿入したり引き抜いたりしないこと。引き抜く際はできるだけ湾曲部を体腔に沿った形にすること。体腔内を傷付けたり、出血、穿孔を起こすおそれがある。また、使用中にアングルが戻らなくなり、本製品を引き抜けなくなるおそれがある。
 - (4) アングルを無理に掛けたり、急激に操作したり、アングルを掛けたまま無理に引っ張ったりねじったりしないこと。体腔内を傷付けたり、出血、穿孔を起こすおそれがある。また、使用中にアングルが戻らなくなり、本製品を引き抜けなくなるおそれがある。特に気管分岐部では注意すること。
 - (5) 照明は必要最小限度の明るさで使用し、内視鏡先端部を長時間粘膜に接近させないこと。内視鏡先端部が熱くなり、熱傷を起こすおそれがある。内視鏡先端部の温度は 41℃を超えて、50℃に達することがある。
 - (6) 検査の前後は、できるだけ内視鏡の照明光を点けたままにしないこと。照明光を点けたままにしておくと、内視鏡先端部が熱くなりやけどするおそれがある。
 - (7) 本製品を使用しているときに内視鏡画像が暗くなってきた場合は、本製品の先端部の照明部分に血液、粘液などが付着した可能性がある。一度内視鏡を患者から引き抜き、これらを除去してから再び使用すること。除去せず使い続けると、内視鏡先端部の温度が上昇し、患者や術者がやけどをするおそれがある。
 - (8) スコープコネクターのライトガイドは光源装置から取りはずした直後、非常に熱くなっているため触れないこと。やけどするおそれがある。

不具合

その他の不具合

画像異常、アングル動作不良、抜去不良、故障、破損、部品の脱落、挿入部外表面のはがれ、湾曲部材の切れ・膨らみ・劣化、汚染、洗浄・消毒・滅菌不良、意図しない反転、意図しない先端部温度の上昇

有害事象

重大な有害事象

空気塞栓

その他の有害事象

患者の呼吸の阻害、患者・術者などの汚染・感染、組織の損傷、出血、穿孔、やけど、抜去困難

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

*使用後は、『取扱説明書 洗浄／消毒／滅菌編』に従い、洗浄、消毒、滅菌および保管すること。

耐用期間

本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）6 年とする（自己認証（当社データ）による）。

*なお、『添付文書』や『取扱説明書 操作編』に示す使用前点検および定期点検を実施し、点検結果により必要であれば修理またはオーバーホールを実施するなどの適正使用をした場合の年数である。

【保守・点検に係る事項】

洗浄、消毒、滅菌方法

- *1. 内視鏡のすべての管路は使用の有無にかかわらず、毎症例後必ず洗浄、消毒（または滅菌）を行うこと。なお、手順及び条件は、『取扱説明書 洗浄／消毒／滅菌編』の記載に従うこと。
- *2. 『取扱説明書 洗浄／消毒／滅菌編』に記載の、洗浄、消毒、滅菌に使用できる薬剤を使用すること。それ以外の薬剤については、内視鏡お客様相談センター、当社指定のサービスセンターまたは当社支店、営業所まで問い合わせること。ステラッド® NX™ は適用対象外である。
3. 内視鏡および付属品は、消毒（または滅菌）の前に十分に洗浄し、消毒（または滅菌）効果を妨げる微生物や有機物を取り除くこと。なお、洗浄時に洗浄液を過度に泡立たせないようにすること。
4. 消毒の全工程で内視鏡本体と付属品を完全に浸漬し、機器の外表面や保護チューブの内面などの気泡を完全に取り除くこと。
5. 内視鏡の外表面、保護チューブの内面などに消毒液が残らないように、滅菌水で十分に洗い流すこと。
6. 塩化ベンザルコニウムを含有する消毒液を使用しないこと。
7. オゾン水への浸漬、オゾン発生雰囲気中での保管はしないこと。
- *8. 本添付文書および本製品の『取扱説明書 洗浄／消毒／滅菌編』に記載している洗浄、消毒、滅菌方法では、クロイツフェルト・ヤコブ病の病因物質であるプリオンを消失または不活化することはできない。クロイツフェルト・ヤコブ病患者に本製品を使用する場合は、その患者専用の機器として使用するか、使用后適切な方法で廃棄すること。クロイツフェルト・ヤコブ病への対応は、種々のガイドラインに従うこと。

使用者による保守点検事項

使用前点検および定期点検（6 か月または 100 症例に一度）において、以下の事項を確認すること。点検結果により修理またはオーバーホールを必要であれば実施すること。

1. 内視鏡画像が曇って見えるような現象がないこと。
2. 挿入部を両手で持ち、全長にわたって図 1 に示すように順次半円の頂点をずらすように曲げたときに、適切な軟らかさを有しており、軟らかさが不連続になっているなどの異常がないこと。

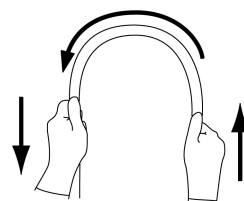


図 1

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 3.挿入部の光沢消失や色あせがないこと。
- 4.操作部のアングルレバーの作動のざらつき、がたつき、引っ掛かり、操作部を軽く振ったときに異音がするなどの現象がないこと。
- 5.先端レンズの脱落を防止するため、内視鏡の先端部の打跡、レンズ自体の欠け、レンズ周辺の欠け、レンズ周辺のすきま、レンズの異常な飛び出しがないこと。

****業者による保守点検事項**

—

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社

〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先

TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

取扱説明書を必ずご参照ください。